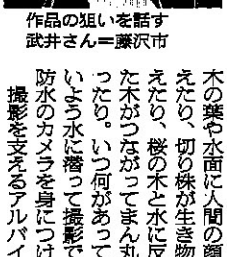

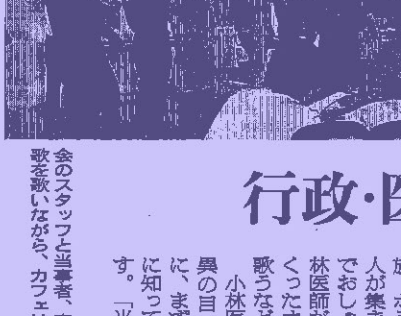

横浜

横浜総局
〒231-8504
横浜市中区日本大通15
☎ 045-681-6101
fax 045-641-9696
mail kanagawa@asahi.com

田園都市支局
〒225-0011
横浜市青葉区あざみ野2-12-5
☎ 045-904-9010
fax 045-904-9020

川崎 ☎044-244-4306
厚木 ☎046-221-3300
湘南 ☎0466-26-4911
横須賀 ☎046-822-0211
鎌倉 ☎0467-22-0123
小田原 ☎0465-32-3822
相模原 ☎042-752-3150
平塚 ☎0463-35-3246

きょうの天気

降水確率

6~12時		12~18時
0	横浜	0
0	三浦	0
0	海老名	0
0	小田原	0

横浜 南西　海老名 南南西
三浦 南西　小田原 南西
湿度 40%　波 2.5m

気温	最高	最低
横浜	20度	10度
三浦	19度	11度
海老名	21度	7度
小田原	20度	7度

あす

横浜 東　海老名 南南東
三浦 東北東　小田原 南南東
湿度 30%　波 2.5m

4月6日
(旧3月2日)

日出	5.22
日入	18.06
月出	6.04
月入	18.52

月齢 0.8

音のない世界 旅する写真家

寒川町在住 武井金史さん

9日から藤沢で個展

寒川町在住の耳が聞こえないフリーランス写真家、武井金史（かねし）さん(71)が9日から、個展「ようこそ。新発見の世界へ。」をJR辻堂駅前の藤沢市アートスペースで開く。アルバイトをしながら全国を旅し、7年ほど前から撮りためた風景を中心にした約250点を展示する。

武井さんは幼くして両親と別れ、養父母に鎌倉市で育てられた。原因不明の病気で聴覚を失ったのは2歳の時。養父が離婚と再婚をして、妹たちが生まれると家に居場所がなくなった。ろう学校の高等部は働きながら親に頼らず通った。

卒業後、別のろう学校の先輩に誘われて写真を始めた。最初は養父の一眼レフを持ち出した。36枚撮りのフィルムが買えず、24枚撮りを使った。4年ほど後、地元紙が関係するコンクールで健常者たちに交じって最高位の賞を受けた。

プロの写真家を志した。写真やイラスト、デザインを教える夜間の専門学校に何年も通った。有力団体の公募展で入選を繰り返した。ただ、仕事の交渉をするにも、電話がかけられず、メールもない時代。写真の収入で暮らすのは無理だった。

作品の狙いを話す武井さん＝藤沢市

40歳を前にイカの皮むきや水産業界紙の写真植字で生活費を稼ぎながら被写体を求めて北海道を旅した。4年かけて撮影した写真は高く評価され、東京で個展「冬の詩（うた）」を開いた。高名な写真家が「1枚1枚の雪の写真は無言の静寂の中で語られる『冬の詩』の朗読を聞くようだ」と評した。

結局、このころから約35年間、神奈川を中心にしながらも拠点となる住まいを転々と変えて、アルバイトをしながら撮影の旅を続けることになった。寒川に落ち着いたのは昨年夏。その前は埼玉に2年間、さらにその前は大阪に2年。

今回のテーマ「新発見」は風景や事物に意外な「別の顔」を見いだすことを指す。木の葉や水面に人間の顔が見えたり、切り株が生き物に思えたり、桜の木と水に反射した木がつながってまん丸になったり。いつ何があってもいいよう水に潜って撮影できる防水のカメラを身につける。撮影を支えるアルバイトは4、5年前まで続けた。8年前、庶務仕事をしていた会社のロビーで開いたのが一番最近の個展だ。

「視覚に映るものだけでは心情的なものは見えない。私は聴覚障害を持つが、どんな風に音が聞こえるだろうと感じる時は、見える情報から見えない部分の気配が心に響くようだ」。音がないからこその集中力を信じる。

「立ち雲は井戸端会議?」「今日は、僕、ビワです。」「やれやれ、深く眠れた」――。タイトルに知恵を絞った作品はすべて、状況の変化を見逃さないよう、ファインダーをのぞかない方の目をしっかり見開いて撮ったという。

14日まで。入場無料。

（山本真男）

仲間と交流

会のスタッフと当事者、家族らが参加して歌を歌いながら、カフェは和やかに進んだ＝小田原市酒匂

行政・

人が集まった。お茶を飲んでおしゃべりもしつつ、小林医師がカフェのためにつくったオリジナルソングを歌うなどして楽しんだ。

小林医師は「当事者が奇異の目で見られないように、まずは実態を多くの人に知ってもらいたい」と話す。「当事者の心を弱める

程度開催する予定だ。

厚生労働省の推計値では、2011年1月段階で県内の若年性認知症（65歳未満）は2674人とされる。だが小林医師によると、同会で17年、1市3町の現状把握を進めようと医療機関などに調査を行ったが、43人という少ない結果が出たという。

小林医師は「本来多いはずの血管性認知症がカウントされていない可能性があ

しいとしている。

カフェに参加した60代の男性は7年前に発症。「当事者同士で顔を合わせる機会は少ないので、貴重な経験だった。次回も参加してみたい」と話した。妻は「本人にとって病気という認識はない。こうした居場所があれば社会との関わりもあり、自分らしさも保てるようになるのではないか」と期待を込めた。

（岩堀滋）

球春季大会（県高野連主催、朝日新聞社など後援）の組み合わせ抽選会が4日、横浜市保土ケ谷区の保土ケ谷公会堂であった。選抜大会に出場した桐蔭学園と横浜、地区予選を勝ち抜いた計86校が出場する。

3、4回戦の会場は、2回戦終了後に決まる。上位2校は、5月18日から埼玉県で開かれる関東大会に出場する。

（安藤仙一朗）

新聞を)推進協議会(赤池
会長)は、県内の小・中・
校、特別支援学校を対象に
2019年度のNIE実
校6校を募集している。
NIEは教育界と新聞
が連携して進めている活
で、新聞を教材として
い、子どもたちが文章力
身につけるとともに、社

住居に侵入し 性的暴行容疑

相模原の25歳逮

女性に性的暴行を加え
などした疑いで、県警は
日、相模原市南区文京2
目の会社員、増尾優太容
者(25)を強盗・強制性交
住居侵入の容疑で逮捕し
発表した。容疑を認めて
るという。
捜査1課によると、増
容疑者は3月11日午前2
ごろから午前4時ごろに

潮
6日・大潮
横浜港

満潮	5.29 17.47
干潮	11.44 23.58

きょうの花粉情報

県東部	県西部
非常に多い	非常に多

リオネット補聴器
認定補聴器技能者のいる
認定補聴器専門店
県内リオン補聴器センター
横浜 川崎 戸塚 横須賀
厚木 相模原 平塚 小田原